

2021 年度 前期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム科目 シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級 I 総合	火 3・4	茅田	... 1
上級 I 読解	金 1・2	松尾	... 2
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムでの各クラスのレベルについて			... 3

2021年度 前期	曜日・校時	火曜日・3校時、4校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級I総合			
担当教員名	刃田 美有紀	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	本文について理解し、現代社会の普遍的な課題への自分なりの見方を獲得する。獲得したことを書いたり話したりして的確に伝えられるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

この授業では予習が前提です。各課の本文を読み、内容を把握して授業に出てください。

第1週	4/13	オリエンテーション
第2週	4/20	第1課内容確認、発展問題、グループ発表
第3週	4/27	第2課内容確認、発展問題、グループ発表
第4週	5/11	第3課内容確認、発展問題、グループ発表
第5週	5/18	第4課内容確認、発展問題
第6週	5/25	第4課発表
第7週	6/1	休講
第8週	6/8	第5課内容確認、発展問題、レポート
第9週	6/15	第6課内容確認、発展問題
第10週	6/22	第7課内容確認、発展問題、グループ発表
第11週	6/29	第8課内容確認、発展問題
第12週	7/6	第9課内容確認、発展問題、レポート
第13週	7/13	第10課内容確認、発展問題、グループ発表
第14週	7/20	第11課内容確認、発展問題
第15週	7/27	第12課内容確認、発展問題
第16週	8/3	第12課発表

教科書・教材等	『話す・書くにつながる 日本語読解 中上級』小野恵久子 他著、アルク
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 11%、内容把握の問題 12%、発展問題の課題 12%、発表 2×10% = 20%、レポート 2×10% = 20%、グループ発表 5×5% = 25% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.、専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。

2021年度 前期	曜日・校時	金曜日・1校時、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級I読解			
担当教員名	松尾 まゆ美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	意見文や説明文など、まとまった長さの文章を理解できる。また、文意をとらえるだけでなく、他者との意見交換をしながら思慮を深め、日本語の表現能力を高める。			
授業概要／毎週毎の授業内容を含む				
・意見文、説明文などのまとまった長さの文を読み内容を理解し、ペアワークやプレゼンテーションなどで意見や考えを共有する。				
第1週	4/9	オリエンテーション Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第2週	4/16	Unit1「自己紹介と本当の自分」		
第3週	4/23	Unit3「ジェンダーを考える」		
第4週	5/7	Unit3「ジェンダーを考える」		
第5週	5/14	Unit4「ことばと文化」		
第6週	5/21	Unit4「ことばと文化」		
第7週	5/28	Unit5「心と体のバランス」		
第8週	6/4	Unit5「心と体のバランス」		
第9週	6/11	Unit6「働くということ」		
第10週	6/18	Unit6「働くということ」		
第11週	6/25	Unit8「環境のためにできること」		
第12週	7/2	Unit8「環境のためにできること」		
第13週	7/9	Unit9「食の共同性」		
第14週	7/16	Unit9「食の共同性」		
第15週	7/30	プレゼンテーション / Unit10「笑いのちから」		
第16週	8/6	期末試験		
教科書・教材等	『新 中級から上級への日本語』(the Japan Times) / 新聞コラム			
成績評価の方法・基準等	授業への参加度 10% 提出物 30% 発表・プレゼンテーション 30% 試験 30% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。			
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 <u>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先</u> (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp			
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行、家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc., 専門関係：乗船実習、研究発表 etc.）により、テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが、日時の変更が認められた場合、点数は獲得点数の90%となる。			

**留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて**

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能な JLPT (日本語能力試験) のレベル	CEFR (ヨーロッパ 共通言語 レベル)
初級 I	初級 前半	初歩的な文法・漢字 (100 字程度)、語彙 (800 語程度) を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級 II	初級 後半	基本的な文法・漢字 (300 字程度)・語彙 (1,500 語程度) を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級 I	中級 前半	基本文法の応用ができ、漢字 (700 字程度)・語彙 (3,500 語程度) を習得し、一般的なことから、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級 II	中級 後半	やや高度な文法・漢字 (1000 字程度)・語彙 (6,000 語程度) を習得し、少し高度な一般的なことから、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級 I	上級 前半	高度な文法・漢字 (1,500 字程度)・語彙 (8,000 語程度) を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級 II	上級 後半	高度な文法・漢字 (2,000 字程度) 語彙 (10,000 語以上) を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級 I (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 I 読解 (2 単位, 週 2 コマ)
初級 II (5 単位, 週 5 コマ)	中級 I 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 I 総合 (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 A (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 B (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 I 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	上級 II 総合 C (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 読解 (2 単位, 週 2 コマ)	上級 II 総合 D (2 単位, 週 2 コマ)
	中級 II 聴解 (1 単位, 週 1 コマ)	日本語能力試験 N1 対策講座 (1 単位, 週 1 コマ)
	中級 II 会話 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 作文 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級 II 漢字 (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 A (1 単位, 週 1 コマ)	
	中級総合 B (1 単位, 週 1 コマ)	

*週 1 コマとは、1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

(本ページのみ：2015/07/30 作成, 2018/01/26 更新)